

「第 4 次静岡県環境基本計画」の評価指標の点検について（報告）

1 要旨

昨年度第 3 回環境審議会において委員からいただいた意見をもとに、第 4 次静岡県環境基本計画の成果指標と活動指標について点検を実施した。

2 概要

(1) 成果指標と活動指標の関連性の点検

ア 概要

点検の結果、以下の 3 つの活動指標について、成果指標との関連性がないものが存在した。

	分野	活動指標
関連する 成果指標 なし	良好な生活環境の確保	農業水利施設更新整備の事業化箇所数（箇所）
		大気環境測定局の有効測定局数（局）
	環境と調和した社会の 基盤づくり	新成長戦略研究の実用化割合（％）

イ 今後の対応

令和 8 年度に第 4 次静岡県環境基本計画全体の中間見直しを実施予定。その際、評価指標全体を設定し直すこととなるため、そのタイミングに合わせて上記 3 つの活動指標も見直しを実施する。

また、成果指標と活動指標の評価に 2 段階以上の乖離があるものが複数存在したため、中間見直しに併せて見直す。（別表 1 のとおり）

(2) 総合計画の目標値と相違が生じている指標の目標値の修正

以下の 4 指標について、社会情勢の変化等により目標値が現状にそぐわない内容となっているものがあつたため、令和 5 年度に総合計画の評価指標を修正した内容を今回環境基本計画にも反映する。

ア 該当指標一覧

区分	指標（単位）	現		新	
		中間目標値 （2025 年度）	目標値 （2030 年度）	中間目標値 （2025 年度）	目標値 （2030 年度）
活動	ふじのくに COOL チャレンジ「クルポ」アクション数（件）	360,000 件/年	800,000 件/年	1,200,000 件/年	1,200,000 件/年
活動	南アルプスユーチューブ動画の閲覧回数（回）	100,000 回	200,000 回	170,000 回	230,000 回
活動	しずおか未来の森サポーター企業数（社）	累計 144 社	累計 154 社	累計 160 社	累計 180 社
成果	新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数（者）	毎年度 75 者	毎年度 75 者	毎年度 158 者	毎年度 158 者

イ 見直しの理由、設定根拠

別表 2 のとおり

(3) その他

総合計画との整合を踏まえ文言を統一するもの

区分	指標 (単位)	旧		新	
		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)	中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
活動	農業水利施設更新整備の事業化箇所数 (箇所)	82 箇所	82 箇所	累計 82 箇所	累計 82 箇所
活動	水質汚濁防止法特定事業場への立入検査の実施回数 (事業所)	380 事業所	380 事業所	毎年度 380 事業所	毎年度 380 事業所
成果	森づくり県民大作戦参加者数 (人)	毎年度 28,000 人	毎年度 28,000 人	28,000 人	28,000 人
成果	地域の緑化活動団体数 (団体)	300 団体	300 団体	累計 300 団体	累計 300 団体
活動	ボランティア等との協働による富士山の自然環境保全活動等参加者数 (人)	18,000 人	18,000 人	毎年度 18,000 人	毎年度 18,000 人
活動	ボランティア等との協働による浜名湖の自然環境保全活動等参加者数 (人)	18,000 人	18,000 人	毎年度 18,000 人	毎年度 18,000 人
活動	自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数 (回)	180 回	180 回	毎年度 180 回	毎年度 180 回
活動	芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数 (箇所)	96 箇所	96 箇所	累計 96 箇所	累計 96 箇所
活動	新成長戦略研究の実用化割合 (%)	80.0%	80.0%	毎年度 80.0%	毎年度 80.0%

成果指標・評価		関連する活動指標・評価		担当部局	担当課
1 脱炭素社会の構築					
県内の温室効果ガス排出量の削減率(2013年度比)(%)	C	ふじのくにCOOLチャレンジ「クルポ」アクション数(件)	目標値以上	くらし・環境部	環境政策課
		渋滞対策実施率(%、箇所数)	B	交通基盤部	道路企画課
		電気自動車充電器設置数(基)	目標値以上	経済産業部	エネルギー政策課
エネルギー消費量(産業+運輸+家庭+業務部門)削減率(2013年度比)(%)	B	省エネルギー診断実施回数(回)	A	くらし・環境部	環境政策課
		事業所の省エネルギー化に関するセミナー等参加者数(人)	B	くらし・環境部	環境政策課
		住宅の省エネルギー化に関するセミナー等参加者数(人)	目標値以上	くらし・環境部	住まいづくり課
		道路照明等のLED化率(基数)	B	交通基盤部	道路保全課
		ふじのくにCNFプロジェクトにおける試作品開発等支援件数(件)	C	経済産業部	新産業集積課
		次世代自動車分野における試作品開発等支援件数(件)	B	経済産業部	新産業集積課
		再生可能エネルギー導入量(原油換算:万kℓ)	B	太陽光発電導入量(万kW)	B
バイオマス発電導入量(万kW)	B	経済産業部		エネルギー政策課	
中小水力発電導入量(万kW)	目標値以上	経済産業部		エネルギー政策課	
県内の電力消費量に対する再生可能エネルギー等の導入率(%)	A	水素ステーション設置数(基)	B	経済産業部	エネルギー政策課
		エネルギー関連機器・部品製品化支援件数(件)	B	経済産業部	新産業集積課 エネルギー政策課
		静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会において、技術開発に取り組むワーキンググループ数(件)	目標値以上	経済産業部	エネルギー政策課
森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積(ha)	基準値以下	森林の二酸化炭素吸収量を確保する間伐面積(ha)	基準値以下	経済産業部	森林整備課
		再造林面積(ha)	基準値以下	経済産業部	森林整備課
木材生産量(万m ³)	B	公共部門の県産材利用量(m ³)	目標値以上	経済産業部	林業振興課
		木質バイオマス(チップ)用材生産量(万m ³)	目標値以上	経済産業部	森林整備課
		住宅や建築物で利用される品質の確かな県産材製品(JAS製品等)の供給量(万m ³)	C	経済産業部	林業振興課
2 循環型社会の構築					
一般廃棄物排出量(1人1日当たり)(g/人日)	目標値以上	食品ロス削減推進計画を策定し、食品ロス削減に取り組む市町数(市町)	C	くらし・環境部	廃棄物リサイクル課
		海洋プラスチックごみ防止「6R県民運動」の清掃活動の延べ参加者数(万人)	B	くらし・環境部	廃棄物リサイクル課
		プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、プラスチック使用製品廃棄物の分別収集のための基準を策定し、当該基準に従って適正な分別排出を促進するために必要な措置を講じた市町数(市町)	C	くらし・環境部	廃棄物リサイクル課
		県が実施するサーキュラーエコノミーにつながる啓発講座の参加者数(人)	B	くらし・環境部	廃棄物リサイクル課
一般廃棄物最終処分量(1人1日当たり)(g/人日)	目標値以上	市町や事業者に対する研修会やセミナー等の開催回数(回)	目標値以上	くらし・環境部	廃棄物リサイクル課
産業廃棄物最終処分量(千t/年)	基準値以下	県内一斉不法投棄統一パトロール(年二回)の延べ参加者数(人)	C	くらし・環境部	廃棄物リサイクル課
3 良好な生活環境の確保					
地下水条例対象地域のうち、適正揚水量を確保している地域数(達成率)	目標値以上	水の出前教室実施回数(回)	目標値以上	くらし・環境部	水資源課
		地下水位の観測箇所数(箇所)	基準値以下	くらし・環境部	水資源課
水質が改善した河川数(河川)	B	水質汚濁防止法特定事業場への立入検査の実施回数(事業所)	目標値以上	くらし・環境部	生活環境課
		浄化槽法定検査受検率(%)	目標値以上	くらし・環境部	生活環境課
		汚水処理人口普及率(%)	B	交通基盤部	生活排水課
		水道法水質基準不適合事案の件数(件)	基準値以下	くらし・環境部	水資源課
関連する成果指標なし	/	農業水利施設更新整備の事業化箇所数(箇所)	B	経済産業部	農地整備課
		大気環境測定局の有効測定局数(局)	A	くらし・環境部	生活環境課
4 自然共生社会の構築					
県内の野生生物の絶滅種数(種)	目標値以上	一定規模以上の開発行為に伴う自然環境保全協定締結率(%)	目標値以上	くらし・環境部	自然保護課
		南アルプスにおける希少野生動植物保護条例の指定により保護される野生動植物の数(種)	B	くらし・環境部	自然保護課
		ボランティア等との協働による富士山の自然環境保全活動等参加者数(人)	C	くらし・環境部	自然保護課
		ボランティア等との協働による浜名湖の自然環境保全活動等参加者数(人)	B	くらし・環境部	自然保護課
ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナー(南アルプスプロジェクト)の委嘱数(件)	B	南アルプスユーチューブ動画の閲覧回数(回)	目標値以上	くらし・環境部	自然保護課
		南アルプスサポーター数(人)	B	くらし・環境部	自然保護課
伊豆・富士地域ニホンジカ推定生息頭数(頭)	C	伊豆・富士地域ニホンジカの管理捕獲の目標頭数達成率(%)	基準値以下	くらし・環境部	自然保護課
森づくり県民大作戦参加者数(人)	B	森林環境教育指導者養成人数(養成講座修了者数)(人)	B	くらし・環境部	環境ふれあい課
		自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数(回)	目標値以上	くらし・環境部	環境ふれあい課
地域の緑化活動団体数(団体)	B	緑化コーディネーター養成講座修了者数(人)	目標値以上	くらし・環境部	環境ふれあい課
		芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数(箇所)	B	くらし・環境部	環境ふれあい課
		しずおか未来の森サポーター企業数(社)	B	くらし・環境部	環境ふれあい課
5 環境と調和した社会の基盤づくり					
新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数(者)	目標値以上	SDGs・ESGセミナーへの参加者数(人)	目標値以上	くらし・環境部	環境政策課
環境保全活動を実践している若者世代の割合(%)	目標値以上	【再掲】ふじのくにCOOLチャレンジ「クルポ」アクション数(件)	目標値以上	くらし・環境部	環境政策課
		【再掲】海洋プラスチックごみ防止「6R県民運動」の清掃活動の延べ参加者数(万人)	B	くらし・環境部	廃棄物リサイクル課
		県が、SNS、動画を活用して環境教育に関する情報発信を行った回数(回)	目標値以上	くらし・環境部	環境政策課
関連する成果指標なし	/	新成長戦略研究の実用化割合(%)	目標値以上	経済産業部	産業イノベーション推進課

第4次環境基本計画見直し指標一覧

(別表2)

政策体系	指標別	指標	基準値	現状値 (年度)	中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)	見直しの内容・理由	見直し後の目標値		目標値(見直し後)の設定根拠	
								中間(2025年度)	最終(2030年度)		
1 脱炭素社会の構築											
	活動	ふじのくにCOOLチャレンジ「クルポ」アクション数(件)	159,518件/年 (2020年度)	1,608,830件/年 (2023年度)	目標値以上	360,000件/年	800,000件/年	令和5年2月の全面リニューアルに伴いアプリのリニューアルによりアクションメニューが充実し、アクション数が目標を達成したため上方修正する。	1,200,000件/年	(新)1,200,000件/年 (現)800,000件/年	リニューアル後の実績が100,000回/月程度であるため、年間で1,200,000回とする。
4 自然共生社会の構築											
	活動	南アルプスユーチューブ動画の閲覧回数(回)	38,625回 (2020年度)	215,272回 (2023年度)	目標値以上	100,000回	200,000回	2022年度末に視聴回数が133,592回となり、目標値100,000回を超えたため、上方修正する。	170,000回	(新)230,000回 (現)200,000回	南アルプスを守るお話、南アルプスユーチューブカレッジ等の動画配信に係る再生回数について、年間12,000回以上の閲覧を目指す。(最終目標値:133,592回+12,000回×8年=229,592≒230,000回)
	活動	しずおか未来の森サポーター企業数(社)	累計134社 (2020年度)	累計152社 (2023年度)	B	累計144社	累計154社	・SDGsに対する企業の関心が高まっていることに加え、積極的に企業訪問活動を行った結果、2022年度実績が目標値を上回ったため上方修正する。	累計160社	(新)累計180社 (現)累計154社	・2019～2022年度の実績を踏まえ、年間4社の増加を目指し、2025年に累計160社、2030年に累計180社を目標値とする。
5 環境と調和した社会の基盤づくり											
	成果	新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数(者)	(新)127者 (2022年度) (現)70者 (2020年度)	705者 (2023年度)	目標値以上	毎年度 75者	毎年度 75者	「環境経営に関する制度」について、現在の5種類から7種類とする。 具体的には、条例に基づく温室効果ガス排出削減計画書提出事業者数を追加するとともに、自然環境保全活動に新たに参加する事業者数を追加する。	毎年度158者	(新)毎年度158者 (現)毎年度75者	現状の目標値75者に、2022年度の排出削減計画書提出実績(任意分)の69者及び自然環境保全活動に新たに参加する県内事業者数14社を加えた158者を目標値とする。